

## 第19回 通常総会のお知らせ

昭和53年度通常総会を下記によって開催いたします。総会の案内状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

### 記

日 時 昭和53年5月18日(木) 13:30~14:30

会 場 機械振興会館 6階67号室

- 総会次第
1. 会長あいさつ
  2. 昭和52年度事業報告および決算報告
  3. 昭和53年度事業計画および予算審議
  4. 昭和52年度論文賞の発表と表彰
  5. 新役員の選定
  6. その他

特別講演 (14:40~)

通信のデジタル化と情報処理……………廣田憲一郎 (前副会長)

## 研究会開催通知

(昭和53年4月15日~5月31日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
人工知能と対話技法	4月21日(金)	14:00~17:00	機械技術研究所	前号参照
データベース管理システム	5月11日(木)	14:00~17:00	機械振興会館	下記参照
イメージ・プロセッシング	5月16日(火)	13:30~17:00	京 都 大 学	同 上
記 号 処 理	5月19日(金)	13:00~17:30	理化学研究所	同 上
コンピュータ・ネットワーク	5月24日(水)	14:00~17:00	機械振興会館	同 上
計 算 言 語 学	5月26日(金)	14:00~17:00	同 上	同 上
ソフトウェア工学	5月31日(水)	14:00~17:00	同 上	同 上

### ◆ 第7回 データベース管理システム研究会

(主査: 穂鷹良介, 代表幹事: 植村俊亮)

日 時 昭和53年5月11日(木) 午後2時~5時

会 場 機械振興会館6階65号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 都営1号線大門, 都

営 6 号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 新橋一汐谷線東京タワー,  
等々力ー東京駅八重洲口線飯倉 1 丁目下車, Tel. 03(434)8211]

議 題

(1) データベース・システムの今後の問題と対策

大須賀節雄, 山内平行, 宇田川佳人 (東大・宇宙研)

[概要] データベース利用範囲の拡大に伴って生ずる各種要求とそれらを満足するためのシステムについて述べる.

(2) 太陽神戸銀行における大規模オンラインデータベース事例

忽那恭一 (富士通)

[概要] 全面的にデータベース・システムを導入した太陽神戸銀行のフェイル体系及び業務処理について紹介する.

(3) 問い合わせ言語システム QLP 110 原 潔 (日本ユニバック)

[概要] CODASYL 型 DB システム (DMS 110) にエンドユーザ機能を提供する QLP 110 について述べる.

◆ 第 18 回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査: 尾上守夫, 代表幹事: 長尾 真, 白井良明, 高木幹雄)

日 時  
会 場

昭和 53 年 5 月 16 日 (火) 午後 1 時 30 分~5 時

京都大学 工学部オートメーション研究施設会議室

[京都府宇治市五ヶ庄, 国鉄奈良線黄檗下車徒歩 5 分(奈良線は 1 時間に 1 本の割合), 近鉄京都線 近鉄丹波橋にて京阪電車宇治線京阪宇治行に 乗換え京阪黄檗下車徒歩 5 分, Tel. 0774(32)3111]

議 題

(1) QbI による胃 X 線写真の多重輪郭抽出

森 英雄, 二木 弘 (山梨大・工)

[概要] 胃 X 線写真の輪郭抽出システムをミニコンで作った. 画像の構造化, 辺縁モードの評価, 辺縁の多重輪郭表示等の手法により, 関節 X 線フィルムでも 7 割型輪郭抽出が可能になった. PASKAL をベースにした画像言語を提案する.

(2) RI 心血管造影像による左室壁運動の解析

八村広三郎, 英保 茂, 桑原道義 (京大・工)

[概要] RI 心血管造影法による左心室画像から左心室の輪郭を抽出し, 輪郭の時間的な変動の様子を解析することによって, 心筋梗塞などによる左心室壁の運動異常を検出する.

(3) X 線左心室造影映画像の計算機処理

英保 茂, 桑原道義 (京大・工)

[概要] シネアングイオグラムから左心室辺縁を輪郭追跡法により自動抽出する. シネフィルムの段階から後の処理はすべてミニコンピュータを用いて自動的に行い, 80~100 コマの画像から左心室容積の変動, 心室壁の動き等の心機能の定量的な計測, 評価を可能とした.

(4) 研究室紹介 オートメーション研究施設桑原研究室

桑原道義 (京大・工)

[概要] 本研究室における情報処理関係の研究としては医用画像・情報処理

に関する研究を主として行っている。RI 心血管造影像の処理，X線左心室造影映画像の処理，超音波画像の処理，心放射図の解析などの様子を見学していただく予定である。使用機器はミニコンピュータ，ビデオ入出力機器，FSS，超音波診断装置などである。  
本研究会は日本 ME 学会「医用画像のデジタル処理研究会」と共催です。

#### ◆ 第 4 回 記号処理研究会

(主査：淵 一博，代表幹事：竹内郁雄，佐々木建昭，田中穂積)

- 日 時 昭和 53 年 5 月 19 日 (金) 午後 1 時～5 時半  
会 場 理化学研究所 機械棟会議室  
〔埼玉県和光市広沢 2-1，東武東上線，和光市駅 (池袋より準急で 14 分) 下車，徒歩 15 分，Tel 0484(62)1111〕
- 議 題 (1) LIPX スtring処理 奥乃 博 (電電・武蔵野通研)  
〔概要〕 リスト処理言語 LIPX に実現された新しい発想にもとづく String 処理機能を，その応用とともに報告する。
- (2) べたづめ方式 SNOBOL 3 処理系の移植について 角田博保 (東工大・理)  
〔概要〕 機械の特徴を生かして作られた SNOBOL 3 処理系の高速性を維持したもとの移植について述べる。
- (3) ブール，関数処理システム Syllogister 竹島 卓 (富士通・情社研)  
〔概要〕 フロー解析や dependency 解析などに利用するためのブール関数の処理システムを紹介する。
- (4) 二種類のくず集めについて 寺島元章，後藤英一 (東大・理)  
〔概要〕 リスト構造の生成順序と保存するくず集めと，退役のシステム作成記号を要素にもつ属性リストを回収するくず集めを述べる。

#### ◆ 第 15 回 コンピュータ・ネットワーク研究会

(主査：高島堅助，代表幹事：苗村憲司)

- 日 時 昭和 53 年 5 月 24 日 (水) 午後 2 時～5 時  
会 場 (1) 機械振興会館 6 階 65 号室〔所在地は前記参照〕  
議 題 (1) 国鉄予約システムと他社システムとの結合 星屋益男，五十嵐善夫 (国鉄)  
〔概要〕 国鉄の座席予約システムと大手旅行業者 3 社のシステムをオンラインで結合する計画について述べる。
- (2) 東京大学におけるミニホスト・システムの実現 猪瀬 博，島 直ほか (東大，日電)  
〔概要〕 従来のリモート・バッチ・ステーションの概念の発展として，コンピュータ・ネットワークのホストの位置にミニコンピュータ・システムを導入し，RJE ステーションの機能と，より高度な機能の実現を確認したので報告する。
- (3) N-1 ネットワークにおける運用実験と効率評価

安永尚志，浅野正一郎（東大），北川 一，田畑孝一（京大）

〔概要〕 N-1 ネットワークでは，昭和 52 年後半に，東大・京大間で RJE を主体としたネットワーク運用実験を行った．ここではその概要とネットワークの情報転送効率測定結果について報告する．

(4) DG と VC の両パケット交換網に適応するコンピュータ・ネットワーク・アーキテクチャ：DONA

松下 温，佐久間幹郎，相田 潔，宮崎収兄（沖電気）

〔概要〕 DONA において，どのように DG 型のパケット交換と VC 型のパケット交換の差を吸収し，両者を通信サブシステムとして採用しようとしたかを論じる．

#### ◆ 第 14 回 計算言語学研究会

（主査：和田 弘，代表幹事：西村恕彦，長尾 真，野崎昭弘）

日 時 昭和 53 年 5 月 26 日（金）午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 9 号室〔所在地は前記参照〕

議 題 (1) パターン・マッチングによる分かち書きについて（企業名による実験）  
田中康仁（日本ユニバック）

〔概要〕 企業名や日本語の分かち書きでは最長一致法がおもに使われているが，パターン・マッチング法はこれらの欠点を補う面がある．単語数とその使用頻度によりどの程度の分かち書きかの精度を推定することもできる．

(2) 未 定

#### ◆ 第 6 回 ソフトウェア工学研究会

（主査：国井利泰，代表幹事：佐藤信男，大野尙郎，原田賢一）

日 時 昭和 53 年 5 月 31 日（水）午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室〔所在地は上記参照〕

議 題 (1) 海外における最近のソフトウェア工学の動向

吉村鉄太郎（漢字工学研究所），玉井哲雄（三菱電機・総研）

(2) 未 定

### 創立 20 周年記念論文公募期間について（訂正）

前号本欄の標記論文公募の期間を「54 年 1 月 1 日～8 月 1 日」としましたが，締切りを 8 月 31 日に訂正いたしますので，ご了承ください。

## 情報処理学会第 19 回全国大会の講演申込みについて

昭和 53 年度第 19 回全国大会を下記により開催いたします。論文発表を希望される会員は、下記要領により早目にお申込みください。

- 開催期日** 昭和 53 年 8 月 22 日(火), 23 日(水), 24 日(木)
- 会 場** 東京電機大学 (東京都千代田区神田錦町)
- 応募資格** 本学会個人会員 (正会員, 学生会員) に限ります。共同発表の場合には, 発表者のうち 1 名は会員でなければなりません。登壇発表は 1 人 1 回に限ります。ただし, 未入会の方および 53 年度会費未納の会員は, 登壇発表ができませんのでご注意ください。
- 申 込 料** 特に必要としません。ただし, 登壇発表される方には論文集原稿を提出される際に, 必ず参加費と論文集の予約金を納入していただきます。
- 申込方法** 前号緑のページ(注)の申込用紙 (1 件 1 枚) に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒 (大きさは A 4 (18 cm×26 cm) のもので切手は不要) を同封のうえ, 5 月 1 日(月) (必着のこと) までに下記あてにお送り下さい。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を 5 月下旬に送付いたしますので, 6 月 30 日(金) までにご提出下さい。なお英文原稿も認めます。
- そ の 他** 詳細については, 決定次第本欄にてお知らせします。
- 申 込 先** 〒 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室  
(社)情報処理学会 第 19 回全国大会係 Tel. 03 (431) 2808  
(注) 申込用紙がとくに必要の方は, 封筒に宛名明記 (50 円切手貼付) のうえ, 事務局にご請求ください。

### 講演内容

1. ハードウェア
  - a. アーキテクチャ
  - b. 入出力装置, 演算, 記憶部
  - c. 端末装置
  - d. マイクロコンピュータ
2. ソフトウェア
  - a. プログラム言語
  - b. プログラム処理
  - c. オペレーティング・システム
  - d. データ・マネージメント
  - e. ソフトウェア・テクノロジー
3. 数 理
  - a. アルゴリズム, 形式言語理論
  - b. 数値演算
  - c. 非数値演算
  - d. 最適化法
- e. 自然言語
4. 技術, 科学への応用
  - a. パターン認識, 画像処理
  - b. ロボット, 人工知能
  - c. グラフィックス
  - d. CAD, デザイン・オートメーション
  - e. マン・マシン・システム
5. 社会, 人文, マネジメントへの応用
  - a. シミュレーション, モデリング
  - b. 教 育
  - c. 医 療
6. コンピュータ・ネットワーク
7. 情報検索, データベース
8. 性能評価
9. 保守, 信頼性
10. その他

## 欧文誌の原稿募集について

本年4月より欧文誌“Journal of Information Processing”を発刊いたします。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

### 1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

### 2. 発行計画

- (1) 50 ページ×4 回/年=200 ページ, A 4 判
- (2) 純学術研究発表誌とし, Paper と Short Note を募集する。
  - (i) Paper (原則として刷上り8 ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき, 欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
  - (ii) Short Note (2 ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて, 採録を認められた欧文による小論文。

### 3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

### 4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA 4 判 (21 cm×30 cm) の白紙を使い, 1 行 65 ストローク, ダブルスペースで上下3 cm (強) の余白を残し, パラグラフは初めを5~6 字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24 枚で, 欧文誌刷上り8 ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体, 数式中の記号は斜体(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上, タイトル, 氏名, 所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
  - (i) Paper のアブストラクト——200 語以内
  - (ii) Short Note のアブストラクト——50 語以内
- (3) 図表(写真を含む)は, 完成図(そのまま縮小製版できるもので, 縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお, 文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし, 説明文は別紙にまとめてタイプし, 本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

### 5. 原稿の送付

- (1) オリジナル原稿とコピー3部, 計4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

### 6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として, ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000



## 第3回 日米コンピュータ会議

—カタログ展示会の申込みについて—

本年10月サンフランシスコ市で開催される日米コンピュータ会議では、カタログのみの展示会を開きます（出展料は1社当り72,000円の予定）。

詳細は次号に掲示いたしますが、展示ご希望の会社は、学会事務局宛お問合わせください。

## 欧文誌“JIP”のご購読について

すでに、本欄でお知らせしましたように、欧文誌“Journal of Information Processing”（略称 JIP）は、4月に発行されることとなりました。購読希望の方は、第19巻1号あるいは2号の本欄の申込用紙をご利用のうえ、お申し込みください。

## 情報処理学会刊行図書

★好評発売中！

### Journal of Information Processing

欧文誌編集委員会（委員長 北川敏男）

オリジナル論文をglobalにできるだけ早く紹介するために、1978年4月に創刊された。「情報処理」掲載論文とあわせて、本学会の代表論文は網羅される。

A4判 60ページ  
季刊（年4回）  
会員頒布 3,000円  
非会員（国内）6,000円  
“（国外）7,000円  
（1部1,800円送料200円）

### コンピュータ・システムの高信頼化

東京大学教授 猪瀬 博 編著

本書は高信頼化技術のシステムの側面の諸手法を述べるとともに、典型的な実例をとりあげて具体的に解説し、コンピュータ・システムの高信頼化技術を体系的に記述した他に類をみないユニークな好著である。


A5判 504ページ上製箱入  
会員特価 5,000円  
定 価 6,500円  
（送料1部 300円）  
内容見本希望の方は学会あてハガキでお申込みください。

### CODASYLデータベース用データ記述言語

データベース言語研究委員会 訳

第1章 序、背景および歴史 第2章 主要な概念  
第3章 データ記述言語（DDL）  
訳者付録：CODASYLデータベース用データ記述言語によるプログラムの例、COBOLデータベース機能の概要  
索引：英和索引、和英索引

B5判 206ページ  
会員特価 2,300円  
定 価 3,000円  
（送料1部 200円）

社団法人 情報処理学会  電話 03-431-2808 振替東京5-83484  
〒105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内